学校番号	３０７

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	楽曲研究	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実際の吹奏楽の楽曲について、スコアを見ながら形式や和音、構成等を分析して、作曲家の意図を理解する学習を行います。楽曲分析できる力を身につけ、自分がどのように演奏すれば全体がいい音楽になるのか、そんな力を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

知識及び技能】
吹奏楽の楽曲について、楽曲研究を行い、作曲家の意図を理解して自分の演奏に役立てられることを目標としている。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽理論や和声学の知識をいかし、音楽を形作っている要素について思考・判断して取り組める力を養うこと。
【学びに向かう力、人間性等】
楽曲研究に主体的に取り組む姿勢や態度を養い、豊かな音楽表現につなげていくこと。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技術や技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作について思考・判断・表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて取り組む。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	理論基礎	楽曲分析に必用基礎知識について確認 (コード、形式、移調楽器について)	a:基礎知識についての理解 b:コードや音楽の構成から音楽の表現について考える。 c:楽曲の分析から自分の楽器の主体的な表現についての取り組み。	プリント	プリント	観察
	楽曲分析基礎	コンクール課題曲、自由曲について楽曲分析	a:楽曲について分析ができる。 b:楽曲の分析から音楽的な表現について考える。 c:全体の分析から、自分の楽器の表現について	テスト	プリント	観察
2	楽曲分析発展	独奏器楽曲を作曲 (自分の演奏する楽器)	a:楽曲分析で学んだ知識をいかす。 b:和声学をいかして表現を工夫。 c:豊かな表現につなげる。	作品	プリント	観察
	マーチの作曲	マーチを作曲する。	a:　楽曲分析で学んだ知識をいかす。 b:　和声学をいかして表現を工夫。 c:　豊かな表現につなげる。	作品	作品	観察
3	マーチの作曲と演奏	作曲したマーチを演奏する。	a:作曲の知識や技能をいかす。 b:楽譜と実際の演奏を比較して、自分の曲についての客観的な判断。 c:自作のマーチについて、主体的な表現で創造性を持って作曲できているか。	演奏	作品	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度